

はなわ 議会だより

2026
No.174

発行／福島県埴町議会
令和8年4月17日



3 月定例会

- 後期の議会体制が決定 …………… P 2～ 3
- 令和8年度当初予算を可決 …………… P 4～ 9
- 町政を問う（一般質問） …………… P 10～ 17
- 委員会報告&追跡レポート …………… P 19～ 20

今年も咲いたね！
久慈川河川敷の桜並木



埴町議会ホームページ
QR



埴町議会フェイスブック
QR



埴町議会X
(旧ツイッター)
QR

— 任期の折り返し地点 後期2年の抱負 —

委員会の所属替え 後期の議会体制が決定

3月定例会最終日、議会運営委員会および常任委員会の所属替えを行い、後期2年の議会体制がスタートしました。
※委員会の任期は2年と定められており、任期は令和10年3月30日までです。



副議長
しもじゅう よしと
下重 義人

夢を叶えられるような町づくりを。



議長
すずき たかのり
鈴木 孝則

何をすべきか自分に何ができるかを考え行動したい。



議席番号 5
よしむら もりひろ
吉村 守広 議員

町民の立場に立って監視をおこないます。



議席番号 4
すずき もとひさ
鈴木 元久 議員

町民の皆様の声や願いを、行政に反映していきます。



議席番号 3
きくち てつや
菊地 哲也 議員

町行政の監視を続けます。



議席番号 2
かなざわ たろう
金澤 太郎 議員

未来を見据えた町づくり。



議席番号 1
ほりえ ゆうじ
堀江 祐司 議員

白は、白。黒は…。



議席番号 11
ふじた かずお
藤田 一男 議員

住んで良かったと思われるまちづくりのため、町民目線で。



議席番号 10
こばやし たつひこ
小林 達信 議員

町民の声を町政に。有言実行。



議席番号 9
よしだ かつのり
吉田 克則 議員

町民のため、議論に議論を重ねてまいります。



議席番号 8
あおと ようぞう
青砥 與藏 議員

行政の透明性・効率化を目指す。



議席番号 7
よしだ ひろあき
吉田 広明 議員

子育て環境の充実で未来の埴町を創りたい。



議席番号 6
ななみや ひろき
七宮 広樹 議員

「謙虚に誠心誠意」議員活動に励みます。

総務常任委員会

- 委員長 鈴木 元久
 - 副委員長 金澤 太郎
 - 委員 藤田 一男
 - 委員 吉田 克則
 - 委員 吉田 広明
 - 委員 七宮 広樹
 - 委員 下重 義人
- 総務課、町民課、健康福祉課、会計室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員および他の委員会に属さない事項の調査・審査。

経済常任委員会

- 委員長 菊地 哲也
 - 副委員長 堀江 祐司
 - 委員 小林 達信
 - 委員 青砥 與藏
 - 委員 吉村 守広
 - 委員 鈴木 孝則
- 農林推進課、まち振興課、まち整備課、生活環境課、農業委員会の調査・審査。

広報常任委員会

- 委員長 青砥 與藏
 - 副委員長 金澤 太郎
 - 委員 吉村 守広
 - 委員 鈴木 元久
 - 委員 菊地 哲也
 - 委員 堀江 祐司
- 議会だよりの発行、広報広聴に関する事項。

予算決算常任委員会

- 委員長 吉田 克則
 - 副委員長 七宮 広樹
 - 委員 議長を除く全議員
- 予算・決算に関する事項。

議会運営委員会

- 委員長 七宮 広樹
 - 副委員長 吉田 克則
 - 委員 青砥 與藏
 - 委員 鈴木 元久
 - 委員 菊地 哲也
- 議会の運営、議長の諮問等に関する調査・審査。

令和8年度 一般会計予算総額67億8490万円

B & G 海洋センター整備事業などを可決

3月
定例会の
あらし

一般会計おもな使いみち



埴町第六次長期総合計画
(後期) 策定事業

880万円

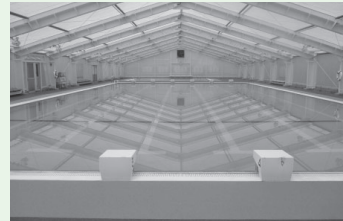
財源内訳 (一般財源 880万円)



移住定住就業者家賃補助事業

360万円

(一般財源 360万円)



B&G 海洋センター整備事業

3711万円

財源内訳 (諸収入(財団助成金) 2969万円
基金 740万円
一般財源 2万円)



高齢者外出支援タクシー
料金助成事業

1680万円

財源内訳 (町債 800万円
一般財源 880万円)



県民参画の森林づくり
促進事業

100万円

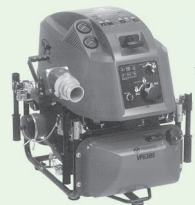
財源内訳 (一般財源 100万円)



町道北野松岡線改良工事費

9700万円

財源内訳 (町債 4380万円
国庫支出金 5320万円)



小型動力ポンプ更新事業

300万円

財源内訳 (町債 300万円)



GIGA スクール用タブレット
端末更新事業

4600万円

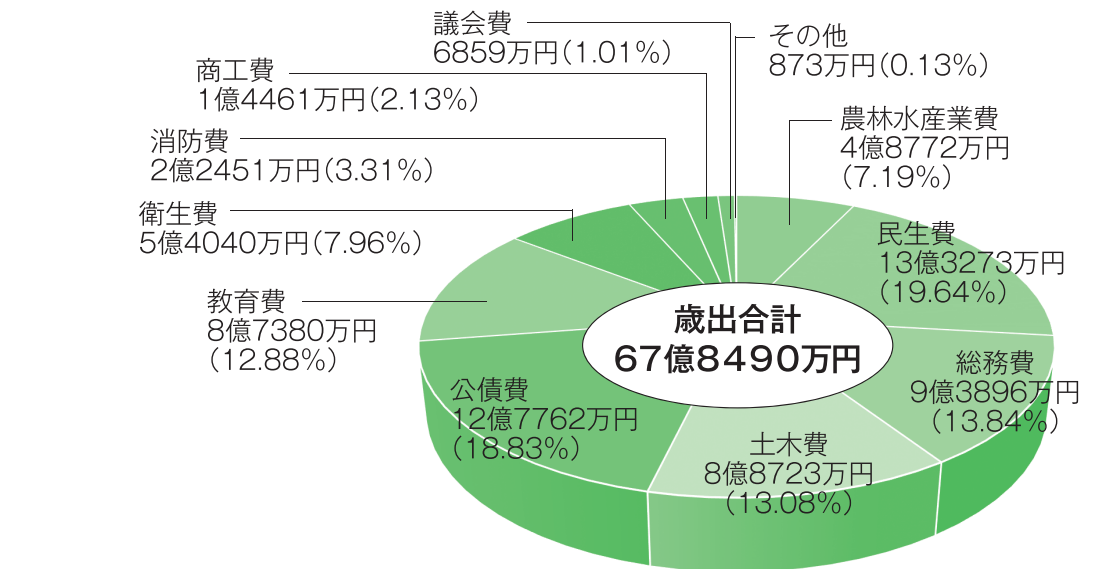
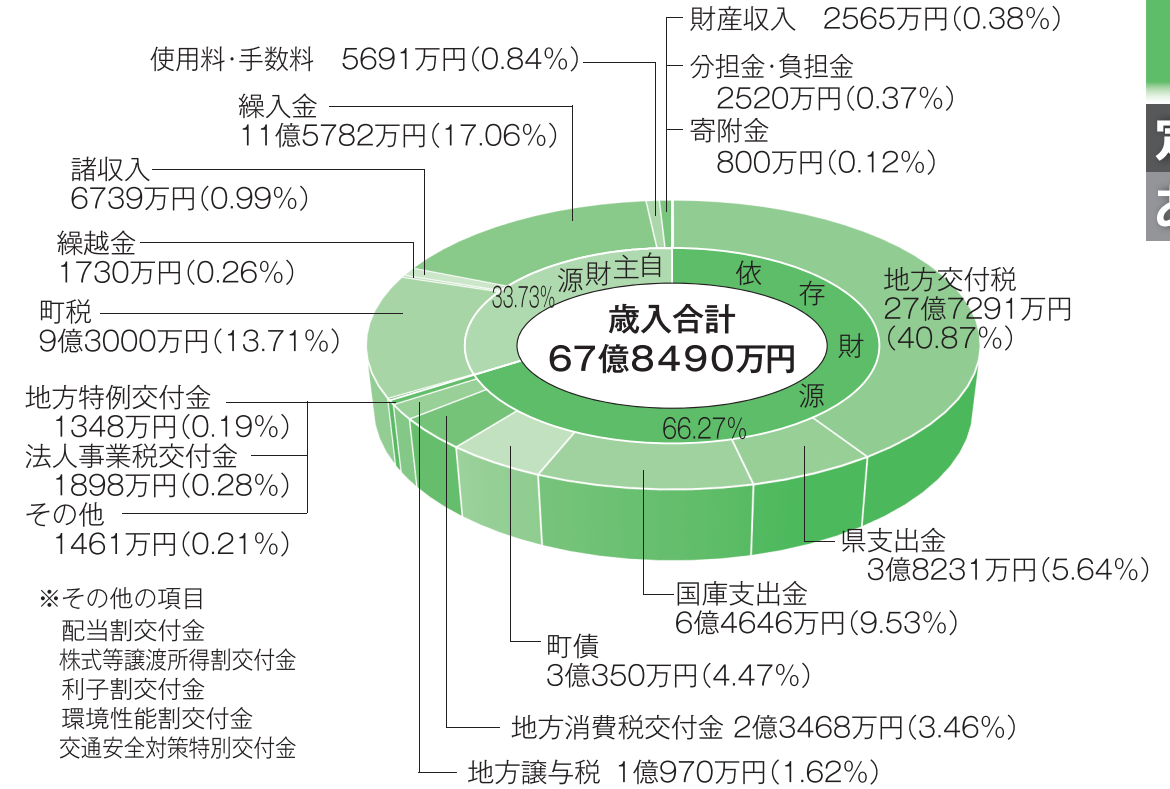
財源内訳 (県支出金 1870万円
基金 2730万円)



補聴器購入助成事業

30万円

財源内訳 (一般財源 30万円)



<特別会計>	予算額	<事業会計>	予算額
国民健康保険	9億250万円	上水道事業(収益的支出)	2億3041万円
介護保険	11億9849万円	上水道事業(資本的支出)	7191万円
後期高齢者医療	1億4976万円	下水道事業(収益的支出)	3億3603万円
		下水道事業(資本的支出)	1億3931万円

3月定例会は、3月9日(月)から17日(火)までの9日間の会期で開催しました。専決処分1件、条例制定3件、計画策定等3件、指定管理者の指定1件、補正予算6件、当初予算6件が上程され、いずれも原案どおり可決・同意となりました。一般質問は7名の議員が登壇し、町政の課題等について議論を展開しました。

令和8年度予算質疑

3月13日から16日にかけて開催した予算決算常任委員会での質疑をピックアップ！

まちづくり・くらし

公債費支出② 庁舎建設事業分を繰上償還予定

Q 昨年度に比べ約2倍になって倍が、内容と今後同程度で推移するの。か。
A 令和8年度は後年度の公債費負担の軽減、財政健全化の観点から、減債基金より5億1120万円を繰り入れ、庁舎建設事業

の借入分について繰上償還の実施を予定している。令和13年度までは7億円台で推移し、その後徐々に減少していく見込み。
公債費支出とは
事業を行うときに借入れたお金の返済

埴町内でのサイクリング事業

関係機関と連携を図りながら進めていきたい

Q 今後の町内での広がりに向けた施策は。

A 町内では秋まつりに合わせた自転車運動会や子ども・外国人労働者を対象にした自転車安全教室を開催していく。その他関係機関と連携を図りながら進めていきたい。



水郡線団体利用促進事業補助金 水郡線の利用促進を図る

Q 補助事業の内容は。

A 磐城埴駅〜常陸大子駅間の1日当たりの平均利用者数が156人という状況を踏まえ、水郡線の利用促進を図るため、公益的目的により2名以上で水郡線を利用する団体に補助する事業。



羽黒山地区森林経営管理権集積計画策定等事業 羽黒山は町の象徴である

Q 事業の内容は。

A 現地調査、意向調査を行い、経営管理権集積計画を策定し、同意取得や植生調査等を実施する。令和4年度同様10haを予定している。山林所有者の協力を求めながら実施していきたい。

Q 他にも管理できていない山林があるが、なぜ羽黒山地区なのか。

A 埴町の面積の8割が山林であるため、その全てを管理すると莫大な費用がかかる。場所を選定するにあたり、まず町民に見えるところから取り組むことを考えた。羽黒山は磐城埴駅の真東に位置し、町の象徴であり、整備することで森林への意識を高めることにつながる。

空家改修等支援事業補助金、空家除却事業補助金 空き家の活用及び解消を図る

Q 事業の内容は。

A 改修等支援事業は、県外から町内への移住定住者を対象に、空き家バンクに登録している空き家を改修や除却した場合、改修上

限60万円、除却50万円で補助。
除却事業は居住者がいなくなつて1年以上経過した空き家の除却費用を補助。補助率は3分の1で上限40万円。

福祉・医療

妊婦のための支援給付金 国の法制化により名称変更

Q 妊婦のための支援給付金事業の内容は。
A 妊婦の皆さんの経済的支援として妊娠時に5万円、出産時に5万円、合計10万円を給付する事業。これ

まで出産・子育て応援交付金事業として実施していたが、国の法制化に伴い名称変更した。



教育支援

文化講演会事業 集客力のある講師を選定

Q 聴講者を増やす取り組みは。

A コロナ禍の入場制限後から聴講者が伸び悩んでいる。町内20ヶ所にポスター掲示するほか、広報誌・IP告知端末などによる

周知などの対策は講じている。集客力のある講師の選定にも注力していきたい。



放課後児童健全育成事業 保護者の要望に基づき時間を変更

Q 令和8年度の変更点は。

A 長期休業中の開始時間を保護者からの要望に基づき10分早めた。また、通常時の終了時間を30分伸ばした。



特別会計

国民健康保険税 子ども子育て支援納付金分 子ども子育て支援の拡充による財源を確保

Q どの程度の負担増となるか。

A 子ども・子育て支援納付金分とは、子ども子育て支援の拡充による財源の確保として国民健康保険税と併せて徴収となる。令和8年度は、国の試算において保険加入者1人当たり月額200円程度の負担とされているが、世帯や所得状況

等により異なる。実際の税額は今後税率を決定してから算定する。



Q 補聴器購入助成事業補助金の内容は。
A 65歳以上の高齢者で住民税非課税の方で、身体障害者手帳を所持していない方、医師による補聴器の必要性を認める意見書を持つ方を対象に、補聴器購入費用の2分の1で上限3万円を補助する。

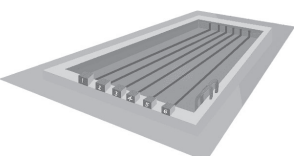


Q 周知の方法は。

A ホームページやIP告知端末のほか、各地で開催される高齢者サロンなど高齢者が集まる場所でのパンフレットを配布する。

B&G 海洋センター整備事業 暑さ対策・老朽化対策等を実施

Q 改修工事の詳細は。
A 暑さ対策としての吸排気ファン改修や老朽化に伴う床シートの張替等を実施。



議案等の審議結果一覧表

No. 1	承認第1号	専決処分について（専決第1号） 衆議院議員総選挙の執行に要する経費について、令和7年度埴町一般会計の歳入歳出予算を増額・専決処分したため、議会に報告し承認を求めるもの。	承認
No. 2	議案第3号	埴町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定 道路法施行令の一部改正により、占用料の額を現在の地価水準等を反映したものに改定するとともに、水素ステーションが新たな専用物件として追加されたことに伴い、町条例の一部を改正するもの。	原案可決
No. 3	議案第4号	埴町営住宅条例の一部を改正する条例の制定 「町営大町住宅」の用途廃止及び引用条例の整理に伴い、町条例の一部を改正するもの。	原案可決
No. 4	議案第5号	埴町辺地総合整備計画の策定 現在の「那倉辺地」の整備計画が令和7年度で終期を迎えるため、令和8年度から令和12年度までの5年間の新たな計画を策定するもの。	原案可決
No. 5	議案第6号	埴町辺地総合整備計画の変更 現在の「片貝辺地」の整備計画について、事業費増額変更に伴い、内容の一部を変更するもの。	原案可決
No. 6	議案第7号	埴町過疎地域持続的発展計画の策定 現在の埴町過疎地域持続的発展計画が令和7年度で終期を迎えるため、令和8年度から令和12年度までの5年間の新たな計画を策定するもの。	原案可決
No. 7	議案第8号	埴町農林水産物直売・食料供給施設の指定管理者の指定 指定管理期間の満了に伴い、新たに指定管理者を指定するもの。指定管理者となる団体は「一般財団法人天領の郷はなわ」。	原案可決
No. 8	議案第9号	令和7年度埴町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出それぞれ2億3千万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ67億1375万円とするもの。主な内容は、総務費、民生費など。併せて、継続費の補正（変更）、繰越明許費の補正（追加）、地方債の補正（変更）を行うもの。	原案可決
No. 9	議案第10号	令和7年度埴町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ1382万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億2442万円とするもの。主な内容は、総務費、保険給付費、保険事業費など。	原案可決
No. 10	議案第11号	令和7年度埴町介護保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ3812万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ13億3394万円とするもの。主な内容は、総務費、地域支援事業費、予備費など。	原案可決
No. 11	議案第12号	令和7年度埴町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ225万円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億4090万円とするもの。主な内容は、繰入金、後期高齢者医療広域連合納付金など。	原案可決
No. 12	議案第13号	令和7年度埴町上水道事業会計補正予算（第3号） 収益的収入の予定額を2億5390万円、収益的支出の予定額を2億4444万円、資本的収入の予定額を1872万円、資本的支出の予定額を1億5011万円とするもの。	原案可決
No. 13	議案第14号	令和7年度埴町下水道事業会計補正予算（第3号） 収益的収入の予定額を3億9176万円、収益的支出の予定額を3億4530万円、資本的収入の予定額を229万円、資本的支出の予定額を1億3953万円、利益剰余金の処分予定額を4812万円とするもの。	原案可決
No. 14	議案第15号	令和8年度埴町一般会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ67億8490万円とするもの。前年度に比べ、額にして2億7740万円、率にして4.26%の増。	原案可決
No. 15	議案第16号	令和8年度埴町国民健康保険特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ9億250万円とするもの。前年度に比べ、額にして757万円、率にして0.83%の減。	原案可決
No. 16	議案第17号	令和8年度埴町介護保険特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ11億9849万円とするもの。前年度に比べ、額にして1891万円、率にして1.6%の増。	原案可決
No. 17	議案第18号	令和8年度埴町後期高齢者医療特別会計予算 予算総額を歳入歳出それぞれ1億4976万円とするもの。前年度に比べ、額にして2124万円、率にして16.53%の増。	原案可決
No. 18	議案第19号	令和8年度埴町上水道事業会計予算 収益的収入の予定額を2億3238万円、収益的支出の予定額を2億3040万円、資本的収入の予定額を747万円、資本的支出の予定額を7190万円とするもの。	原案可決
No. 19	議案第20号	令和8年度埴町下水道事業会計予算 収益的収入の予定額を3億8243万円、収益的支出の予定額を3億3602万円、資本的収入の予定額を3814万円、資本的支出の予定額を1億3931万円とするもの。	原案可決
No. 20	同意第1号	教育委員会委員の任命 任期満了による教育委員会委員1名の任命（新任）について、議会の同意を求めるもの。任期は令和8年4月1日から4年間。	同意



3月 の例会 あまし

質疑（条例）

審議結果一覧No.2
占用料変更について、
急激な料金変更に対す
る事業者への対応は。
A（まち整備課）道路法
において激変緩和措置
がある。

質疑（その他）

審議結果一覧No.4
Q 辺地総合整備計画記載
の整備箇所は。
A（総務課）町道につい
ては呼石鳩の宮線の舗
装補修等を、林道につい
ては新たな林業専用道整備事
業として桜窪線を計画して
いる。

令和7年度 一般会計補正予算

【事業費確定見込みに伴う減
額以外の主な内容】
・各種基金積立金

711万円
金利上昇による預金利子の
増及びふるさとづくり寄付金
の収入実績等により、積立金
を増額するもの。
・ふるさとづくり寄付金謝礼
品事業委託料

116万円
ふるさとづくり寄付金の収
入実績等に伴い、謝礼品事業
委託料を増額するもの。
・国外転出者のマイナンバー
カードへの旧氏・振り仮名記
載対応システム改修業務委託
料

783万円
システム改修に伴い、業務
委託料を増額するもの。

質疑（補正予算）

審議結果一覧No.9
Q ふるさとづくり寄付金の
状況は。
A（総務課）令和8年3月
8日現在、ふるさとづく
り寄付金の申込実績は334
件、1,344万円となつて
いる。

Q 交通教育専門員の報酬減
額に関連して、1名欠員
となつているが今後の募集状
況は。
A（生活環境課）多方面に
声かけ等を行っているが
選任に至っていない。何とか
補充していきたい。

Q 高齢者外出支援タクシー
料金助成委託料減額に関
連して、状況の受けとめは。
A（健康福祉課）申請はあつ
ても利用しない方がいる。
また、タクシーよりも、運
転に不安があつても自由が利
く
自家用車を利用して
いる高齢者が多いと思
われる。



かなざわ たろう 太郎議員
金澤



仕事は楽しく

質問

各課横断的な業務は

答弁

縦割り廃し、横断不可欠

質問 各課横断的な施策立案は。
答弁 町民ニーズに的確に応えるため、従来の縦割り行政の弊害を廃し、組織全体で連携する横断的な取り組みが不可欠。

答弁 事務事業調整会議に限らず、職員各個が所属課の枠を超え、議論し、協力しあう機会を持つことは、柔軟な発想を生み出し、組織としての総合力を高めるうえで不可欠。連携の場、人材育成の場の二つの側面から、環境づくりを進めていきたい。

子供の食育は 教育重点事項

質問 食料自給率が低い事の認識は。

答弁 食料自給率が低く、食料安全保障が脆弱化している。

質問 20代の4割が食料品の原産国を気にしないようだが。

答弁 輸入食品の一部には肥育ホルモン剤・抗生物質を使用したものがある。安価で販売され、若い人が抵抗なく食す傾向がある。国産品の安全性をPRし、自給率をあげる取り組みが重要だが、町単位では非力。国に取り組みを求めていきたい。輸入品がストップし、国民が飢えることは生存権にもつながること。

質問 子どもたちの食育が重要になるが、教育方針は。

答弁 食育については教育重点事項。今後も継続して取り組んでいく。埴町の野菜・米は大変美味しいと絶賛を頂いている。子供達にその意味・価値観を知ってもらうため、町産食材を多用した給食提供は、食育の一環。

一般質問 町政を問う

P11



かなざわ たろう 太郎議員
金澤

- ・低迷する食料自給率
- ・移住受け入れ
- ・就農希望者の地域おこし協力隊活用
- ・各課横断的な業務推進

P12



きくち てつや 哲也議員
菊地

- ・大規模風力発電事業における町の地域振興
- ・企業版ふるさと納税
- ・埴町の各団体、特に高齢者団体の交通支援

P13



あおと りょうさく 与藏議員
青砥

- ・遺産相続、相続放棄における町の地域振興
- ・JR磐城駅東側の宮田町整備
- ・埴町地域振興事業交付金

P14



よしだ かつのり 克則議員
吉田

- ・令和8年度町当初予算
- ・農業委員会の業務等
- ・町有施設の利用及び管理状況
- ・町政施策及び町民の声

P15



すずき もとひさ 元久議員
鈴木

- ・羽黒山の環境整備
- ・笹原小学校運営
- ・寺西代官所跡地(子育て地蔵尊)
- ・南原ニュータウン
- ・役場職員の勤務状況

P16



ほりえ ゆうじ 祐司議員
堀江

- ・クマ問題の状況
- ・セーフティーネット関連
- ・自転車運転、交通安全のための対策支援
- ・防災協定関連

P17



こばやし たつぶ 達信議員
小林

- ・教育長の考え
- ・大規模太陽光発電所
- ・町が委嘱している各委員の報酬
- ・道の駅の下屋改修
- ・桜木町の向ヶ岡公園

一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

一般質問用QRコード



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

移住支援メニュー資料は作成に取り掛かっている

質問 埴町の魅力は何か。
答弁 自然・観光・農業・歴史文化の4つの柱が当町の魅力の根幹。
質問 移住者向け説明会の成果は。
答弁 昨年度10組、本年度7組の来場。参加者に連絡を取るなど丁寧なフォローが必要。なお、令和6年度には2組の移住があった。



質問 移住支援策をまとめた資料は。
答弁 作成していません。支援制度を総合的に理解することが意思決定に極めて重要。支援制度を網羅したパンフレット作製に取り掛かっています。

就農希望者に必要なものは 安定した農業収入

質問 就農希望の地域おこし協力隊の期間要件が拡大される方針のようだが。

答弁 令和8年度から農業技術習得を目指す地域おこし協力隊は、特例により任期3年から5年に延長する予定と報道された。県から、具体的方針は年度内に通知するとの回答。
質問 就農希望者には何が必要か。

答弁 安定した農業収入の確保。
質問 就農希望者に土地を仲介する組織が必要ではないか。

答弁 稲作、イチゴ、キュウリ、酪農の新規就農者が、全酪アカデミー・JA・地元農家さんの協力で軌道にのっている。今後も橋渡ししとなって頂けるようお願いしていきたい。



議員 菊地 哲也

「風の町はなわ」
新たな挑戦へ



個人QRコード

「風の町はなわ」を強く打ち出すべき

積極的に進めていきたい

質問

答弁

質問 令和10年度を目標に風力発電風車が埴町分6基建設中。風力発電ができるころは風が良いと言われている。豊かな山並みと風車群をイメージし、木の町・花の町に続く「風の町はなわ」としてもっと強く打ち出すべきではないか。

答弁 事業者、森林管理署に協力してもらい風車の眺望ポイントをつくり「風のまちはなわ」として都市交流事業の新たなツアーコースに組み入れ、現在行っている宿泊町民割を有効活用し滞在型観光を進めていきたい。



質問 脱炭素や環境問題への対応は町民の理解と協力が重要。町民への啓蒙、次世代への環境教育を進めていきたい。

答弁 風力発電施設建設により道路が改良され利便性が良くなると、懸念されるのがゴミの不法投棄である。対策は、環境美化推進員の巡回を週1回行い、早期発見・早期対応していきたい。実効性のある対策に取り組んでいきたい。

質問 今後の取り組みは。

答弁 風力発電事業者と何が協力をしていただけなのか協議を進め、積極的に連携し、「風の町はなわ」を進めていきたい。

町の重点施策をもっと具体的に

企業が共感してくれる施策を出していきたい

質問 国が進めている企業版ふるさと納税への町の対応は。

答弁 埴町まち・ひと・しごと創生推進計画を策定し、計画に位置づけた各種事業への活用を目的とした寄附を、「企業版ふるさと納税寄附金」として受入れている。

質問 計画は町の長期総合計画を基にしているが、ある意味町が特に力を入れたい施策が企業に伝わりにくいと思われる。例えば、企業版ふるさと納税を使って「保育支援員配

置事業」として子ども園の支援員さんの待遇改善を図り、保育士の負担軽減や体制を強化し、預かれる乳幼児を増やしたいという考えを募るような取組もできるのではないかと。

答弁 本計画の枠組みを保ちつつ、重点的に打ち出すテーマや事業をわかりやすく整理して、企業への情報発信に努めたい。

高齢者への遠方交通支援は

バス借上げが望ましい

質問 高齢者団体への遠方交通支援は。

答弁 交通安全管理上専門業者によるバス借上げが望ましい。各団体への補助金で足りない場合や運転手が確保できない場合などは、早めに町に相談してほしい。

質問

答弁

遺産相続放棄・手続放棄に 対する町の対応策

法的に町村での対応には 限界がある

質問 少子化と相続放棄は相関関係があると考える。埴町では、跡継ぎがいない。地元にはない事例が増え、土地相続や遺産相続の放棄が増えていると思うが、状況は。

答弁 町税の賦課徴収状況に基づき、令和8年1月付け相続放棄の件数は16件、

土地では宅地16筆、農地75筆、その他の土地139筆、建物では44筆。今後増えると思われる。

質問 相続人不存在により登記の更新がされない土地が増加している。2023年から相続土地国庫帰属制度、2024年から相続登記の義務化がそれぞれ始まる。



個人QRコード



議員 青砥 与藏

はべつもせんり
波籠千里



りました。具体的な内容は、

答弁 相続土地国庫帰属制度は、建物が建っていない土地や境界が確定しているなどの要件を満たし、10年間の管理費相当額を支払うことで、相続した土地を国庫に帰属させることが可能となる制度。相続登記義務化は、相続する事実を知ってから3年以内に手続きをしなければならず、違反した場合には罰金が科される。

質問 自治体は、引き取り手のない遺体を火葬する責務があるが、町の現状は。

答弁 令和5年度1件、令和6年度なし。

宮田町整備の考えは

危険な空き家の解消を図っていききたい

質問 JR磐城埴町駅東側の宮田町整備について、公園としての整備の考えがあるか。

答弁 JR磐城埴町駅東側については、以前から地域住民や関係行政から対応について相談等が寄せられている。危険性は危惧されており、駅からの景観も悪い状況にある。しかしながら建物はあるまで個人の財産であり現在のところ町で対処できない。また、対策費用は膨大で現実に無理がある。町としては、空き家



地域振興事業 交付金は

今後も続けて いききたい

質問 地域振興事業交付金の周知広報や事業評価は。

答弁 令和7年度7月広報で17団体の事業を広報し、行政区長による視察研修も実施した。今後とも、適切な事業評価を実施し、運用していきたい。



すずきもとひさ 鈴木元久議員



個人QRコード

町民の願いを大切に！

質問 観光スポットとして誘客を狙っては。
答弁 羽黒山は町のシンボル。時間はかかるが、森林環境譲与税を活用し、広葉樹を植栽し整備していきたい。



質問 羽黒山整備の内容は
答弁 R7に100本の桜植栽と作業道整備

子育て地蔵尊補助金減額の理由は

地域振興事業としての目的は達成された



質問 補助金が30万円から8万円に減額した理由は。
答弁 令和元年度から地域振興事業交付金を交付していたが、目的は達成されたことから維持管理費分として交付する。

質問 職員がいないと聞かぬが。
答弁 私（町長）にも挨拶をしない職員がいる。各課等の長に指導を指示していく。

質問 職員の休憩時間は特に定めていない
答弁 特に定めていない。水分補給等は常識の範囲内で対応している。その他12時から13時までは昼食時間としている。

質問 旧高城小学校・旧常豊小学校の統合時期は
答弁 旧高城小学校が40名、旧常豊小学校が42名。
質問 笹原小学校に町税はいくら使われているか。
答弁 笹原小学校の学校管理費としておよそ

質問 統合時点の在籍人数は。
答弁 旧高城小学校が4000万円支出しており、そのうち一般財源は3200万円。町税がいくらか充当されているかは算出できない。
質問 令和8年度の笹原小学校入学者数は。
答弁 新入生は1名で全生徒数は23名。



質問 共同駐車場設置の考えは今考えていない
質問 南原ニュータウンでの車の世帯保有台数が増えている。共同駐車場設置の考えは。
答弁 今は考えていない。今後行政区からの要望等があれば、調査等を検討していきたい。

質問 農業委員会の業務は農地と農業をまもる
質問 農業委員会の業務内容は。
答弁 農地と農業を守り生かすための番人兼相談窓口と解している。農地のルールを守る許認可業務、農地を最大限に生かす農地利用の最適化、農業者を支える相談支援業務である。
質問 農業委員及び推進委員の推薦公募・選考については。
答弁 募集の方法は公告、回覧、IP告知、町ホームページなど。選考委員会は応募書類の記載内容により要項評価点によって客観的に数字が出る。点数により順位が出てくる。選考委員会で作為的に順位を変更することは出来ないようになっている。選考は順位の上位から決定した。
質問 農業委員及び推進委員の報酬等について町長の考えは。
答弁 特別職の報酬及び費用弁償に関する条例で定められている。今後の報酬については、町その他委員報酬との兼ね合い、他市町村の動向、町としての予算など全体を考慮しながら対応してまいりたいと考えている。

町一般会計当初予算案は

不退転の決意で町政運営



よしだかつのり 吉田克則議員



個人QRコード

町政70周年・新庁舎完成は全町民でお祝いすべきだ！

質問 町長が提案した予算規模と重点施策は。
答弁 一般会計当初予算案は前年度と比較して4.3パーセントの増となる。減債基金を活用して公債費の繰り上げ償還を実施することになる。
重点施策は、大きく三つの柱に重点を置く。子育て支援と教育の充実、定住促進と地域経済の活性化、防災インフラの整備、不退転の決意で町政運営に邁進する。
質問 財政見通しと町の借入金状況は。
答弁 町の将来を組み立てた数値、持続可能な財政運営を基本としている。道路改良事業などの投資的経費に対し必要な借入れを見込んでいる。新たに借り入れる額よりも過去の借入金を返済する額の方が上回るため町債残高は全体としては減少する見込み。

質問 農業委員及び推進委員の報酬等について町長の考えは。
答弁 特別職の報酬及び費用弁償に関する条例で定められている。今後の報酬については、町その他委員報酬との兼ね合い、他市町村の動向、町としての予算など全体を考慮しながら対応してまいりたいと考えている。



2018年3月末閉校した町立常豊小学校校舎の現在

※そのほか、町へ質問した事項は次のとおり
・竹活用施設（旧こんにやく試験地）の利用状況と周辺管理について
・旧常豊小学校施設の管理状況と利活用の見直しについて
・町高齢者等共同住宅利用状況と管理費の実態について
・町政施行70周年新庁舎竣工記念式典について



ほりえ ゆうじ 堀江 祐司 議員



個人QRコード

Keep in mind
～心に留める

安全網・認知症の予防周知

更なる予防周知に努める

質問

答弁

質問 町が取り組むセーフティネット、意見要望を反映させる事案などは。

答弁 法令で定められており、町独自の事業を行うものではないが、町が重視している生活保護受付申請業務、老人保護法の制度説明をする。令和8年3月現在、生活保護58世帯、老人保護法の措置で17名が施設入所などある。可能な限り支援につなげ、要望があれば対応する。

質問 埴町におけるアルツハイマー型認知症などに関連する情報は。

答弁 介護保険利用に必要な介護認定に伴う認知機能低下について令和8年2月現在介護認定調査の結果、何らかの認知機能低下を有する人は、介護認定者688人中594人。一人での対応など日常生活に支障がある方は380人いる。

質問 アルツハイマー型認知症などの予防周知対策を高めてほしい。

答弁 認知症全般に対して予防周知をしている。認知症ガイドを作成し配布している。今後目につくようなデザインになるように努める。また、認知症に対して様々な活動事業も実施している。令和9年～11年に介護保険事業計画を新たに作成し、新たな周知方法や事業の模索、更なる周知に努める。

一般質問

クマ問題の状況

対策用品を使うことがないことを願う

質問 クマに対する危険周知、対策用品の備品備蓄の現状は。

答弁 目撃情報などをものと確認後、IP告知放送等で周知している。クマ注意報は県内で目撃情報が発生した際に、クマ出没警報は人身被害が発生した際に流す。クマ対策用品は、12月議会の補正予算成立後に予定していたものは購入し、備蓄している。緊急銃猟の保険も加入済。

防災協定とは

より良い関係を築いていきたい

質問 防災協定を結んでいる団体数と協定を結ぶ目的は。

答弁 締結している協定は、自治体と民間等合わせ36協定。目的としては災害時発生直後にすぐ対応し、迅速に復旧体制を構築し、即時に機能する応援体制をとるのが最大の目的。

質問 避難が余儀なくされたとき、相互応援について協定先等の理解はあるのか。

答弁 桑折町、只見町と濃密な付き合いをしている、更に実効性の高い協定にする。かなり良い関係になると思う。

自動車運転の対策支援を

検討を進めていきたい

質問 町独自で、アクセル、ブレーキ踏み間違い防止装置の補助はできないか。

答弁 国でのサポカー補助金が終了。装置設置助成制度など先行している近隣自治体の事例など参考に検討を進めていきたい。

質問 電気自動車・PHEV車、購入時町独自でも補助金を出せないか。

答弁 国の補助はあるが町単独では難しい。現時点では実施予定なし。



質問

教育長の基本理念は

答弁

ふるさとの良さに気づかせていきたい

質問 教育長としての基本理念は。

答弁 埴町第6次長期総合計画基本方針の教育にある「ふるさとを愛し心豊かに生き抜く力をまなぶまち」を核として、教育委員会基本方針の重点目標のもと、学習意欲と、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいきたい。

「地域の担い手」を育てるために、学習においても「自立した学習者の育成」を目標に掲げ、学校・家庭・地域の連携力の強化を図り、その達成をめざす。各校では、「ふるさとを愛する」に着目し、ふるさとの良さ・課題に気づき、地域にも発信・提言できるような学びを

展開できるように、段階的に総合的な学習を工夫していく。地域の方とふれあい、地域の方から学び、地域の方とともに創る経験を繰り返すことで、ふるさとの良さに気づかせていきたい。

道の駅の下屋工事は中止すべきと思うが施設の衛生、安全、安心を最優先事項として考えている

質問 ツバメの巣が作れないようにすることだが、あまりにひどい仕打ちではないか。町長の心の中に弱いものに対して情けという心があるなら工事を中止すべきと思うが。

答弁 動物愛護の気持ちは理解できるが、道の駅は食料品の販売、野菜の加工施設でもある。休日等になると、駐車場が満車になることもあり、

施設の衛生・安全・安心を考える立場としては、ツバメの糞が観光客の方にかかってしまうことや、ツバメの糞を踏んだ靴での施設の利用は極力避けなければならないと考えている。また、ツバメをよけて、車道に飛び出すことを危惧する声も聞かえている。施設の衛生、安全、安心を最優先事項として考えている。



こばやし たつのぶ 小林 達信 議員



個人QRコード

つばめくんたちが巣作りに来るのに、本当にかわいそうだよ

挨拶をしない職員への指導はしっかりと対応していきたい

質問 小中学生は挨拶してくれるが、大人になると挨拶ができなくなる原因は。

答弁 礼儀としての挨拶という意識を植えつけていきたい。

質問 議会答弁の中で、町長にも挨拶をしない職員がいるとあった。指導はどうしているか。

答弁 挨拶は大事なコミュニケーションの一つ。自分から声をかけるよう徹底している。町民のために働く組織にいることを再認識してもらい、時間はかかってもしっかりと対応していきたい。



道の駅防鳥ネット

所管事務調査レポート

総務常任委員会
 小中学校におけるタブレットの利用状況及びGIGAスクールの内容について

・調査日 令和8年1月30日(金)
 ・場所 委員会室・埴中学校
 ・出席委員 菊地哲也委員長
 ほか委員(計7名)

・調査のまとめ
 GIGAスクール構想は世界に比べて教育現場のICT化が遅すぎるという国の報告書をきっかけに進められた。2023年度までに1人1台を達成しようという方針だったが令和2年新型コロナウイルスが流行し一斉休校、オンライン授業対応のため一気に加速した。国ではまず「モノを配りネットを繋ぐ」というハード面を優先し、①学習端末1人1台配布、②ネットワークの構築、③デジタル端末を文房具として日常的に活用させ情報活用能力を育成するという3つの目標をたてた。埴町ではタブレット配布と

校内の通信環境整備は達成している。3つ目の情報活用能力の育成に関しては電子黒板、デジタル教科書、デジタルドリルの導入やデジタル支援員の配置を行っている。

5年が経過したタブレットの更新が令和8年度に予定されている。575台で設定費用等を含め1台あたり80,000円になる予定。340台が補助対象となる。

GIGAスクール構想はタブレットの使用は慣れてくると思うが、学力自体にはどのよう反映されているのか聞いてみるべきであった。



経済常任委員会
 町道北野松岡線、町道松岡棚倉線、町道埴若宮線の工事進捗状況及び今後の対応について

・調査日 令和8年1月28日(水)
 ・場所 委員会室・現地
 ・出席委員 鈴木元久委員長
 ほか委員(計6名)

・調査のまとめ
 1. 町道北野松岡線道路改良事業
 概算事業費8億9千万円。財源は国庫支出金と地方債。工事は平面交差の踏切工事を残すばかり。今後大型トラックに対応

2. 町道松岡棚倉線道路改良事業
 東白衛生組合への連絡道路が狭く、計画された事業。概算事業費は1億9千万円。令和9年度開通を予定。現在は測量を完了し、水路確保のため、36mのボックスカルバート設置工事が先行完了。完成後、既設道路と新設道路の通行区分は、東白衛生組合と4町村で協議。農道要素を含むので十分な配慮を願う。

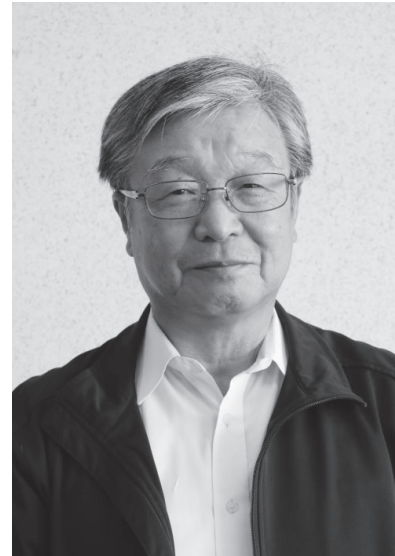
3. 町道埴若宮線改良事業
 通学路緊急対策事業として、国庫補助61.6%の事業。令和3年度の1工区から本年度の2工区までの状況確認。1〜2工区は幅員が確保でき、通学路としての安全対策ができた。今後の3工区は、周辺環境に課題があり、十分な幅員確保ができるか疑問である。

○総括
 道路新設改良事業は極めて重要だが、優先順位付けと、国庫補助等の財源確保が必要。



ひとことインタビュー

令和8年3月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



ふじた たかよし
 藤田 隆美さん(東河内)

効率的に運営していく政策を立案し、町民が幸せで豊かに暮らせる町づくりを

傍聴したきっかけは友人に傍聴を勧められたので、この機会に議場での質問・答弁の様子を直接拝聴したいと思い、成熟した議論を期待して傍聴しました。

傍聴した感想は一般質問初日の午前に傍聴席に入りました。新しい議場は、木材の産地らしく木をふんだんに使用し、見やすい位置にモニターが設置され、空調設備や音響設備、照明も快適な議場でした。傍聴者は5名しかおらず、空席も多くありました。

質問は、一問一答方式です。聞き手にとって内容が分かりやすく感じました。しかし、質問者が内容を十分に吟味し、その意図を明確にし、的確な表現で質問しないと貴重な本会議の時間を浪費することになるので、注意しなければならぬと思いました。

今回、一般質問の項目に上がった各問題の根源には、高速道路のICや新幹線の駅まで遠い中山間地域という埴町の立地条件と、日本の人口が近年大幅に減少し、あらゆる産業で人手不足の状況となり、若者の希望する職種が地元になくことや賃金の違いなどの理由により大都市へ就職を希望する者が多く、埴町の人口増加に結び付く政策が容易に樹立できないことがあると思われまます。多面的な観点から対応を考え、将来にわたって埴町の環境や社会の仕組みが維持できる持続可能な開発目標(SDGs)を考案して、適切な施策を実施していくことが大切であると思いました。

議会に対する意見・要望
 町の歴史や町の置かれている状況を再認識し、将来を見つめ、一人一人の議員が町民のために地域の振興と公平性を考慮しながら町のあるべき姿を決定していくことに議会の存在意義があると思います。

人口減少に起因する効率的な対策について建設的な意見を出してもらいながら、将来にわたり埴町を効率的に運営していく政策を立案し、町民全てが幸せで豊かに暮らせる町づくりを推し進めてほしいと願っております。

一町に対する意見・要望
 議会の決議に従い、行政の執行者として持てる知識を活用し、法令順守の上で適切な判断と迅速な行動により、町民の幸福のためこれからもよろしくお願いたします。

私たち町民一人一人も、町行政を理解し、権利の主張ばかりでなくそれぞれに課せられた義務を果たすことが大切であると思いました。

各種物価高対策事業を可決

エール商品券、宿泊費町民割、子育て応援手当

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

◆ 埴町エール商品券交付事業
1億5,781万円
町民一人当たり2万円分の「埴町エール商品券」を交付する。

議案等の審議結果一覧表

No. 1	議案第1号	埴町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
		保育所等に通っていない乳児等に対し、年齢や発達段階に応じた適切な支援を行い、子どもの健やかな成長と保護者の子育て支援を図ることを目的とした国の「こども誰でも通園制度」(令和8年4月1日施行)の実施に向けて、国の基準を踏まえ、事業の設備及び運営に関する基準を明確化し、安心して利用できる環境を整えるために必要な内容を定めるもの。	
No. 2	議案第2号	令和7年度埴町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
		歳入歳出それぞれ2億1269万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ69億600万円とするもの。主な内容は、国の物価高対策事業に併せて実施する総務費、民生費、商工費など。	



あの質問はどうなったのか?

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

クマ対策用品の備品備蓄は(令和7年12月定例会)

万が一のクマの出没に備え対策用品の備品備蓄は必要では。

答弁

高額であるため、頻繁に出没などあれば検討していく

追い払い用花火などは用意しているが、クマスプレーなどは高額で毎回の購入は難しい。その他備品は、出没などに備えて検討し購入する。

その後

予定していた備品は購入済

令和7年12月議会で補正予算が承認され、令和8年3月現在緊急銃猟のための腕章ゼッケン、防護盾、ヘルメット、無線機、等々、対策用品は購入済。

介護タクシー会社廃業後の対応は(令和7年9月定例会)

埴町にあった介護タクシー会社が、令和7年5月に廃業となり利用者が通院や買い物等に困っているが、相談や対応策は。

答弁

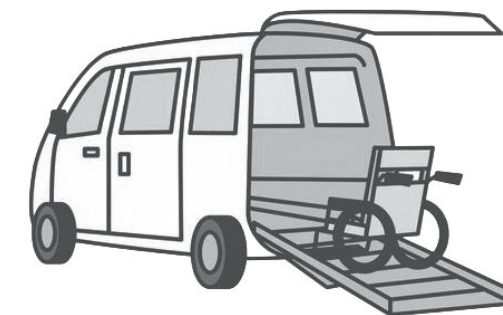
車両の貸し出しなどを考えていく

利用者から相談や代替サービスの情報を求められた。社会福祉協議会に働きかけ、デイサービスで使用している車両を一般に貸し出す方法や、車椅子可能な軽ワゴンを配備することなど考えていきたい。

その後

新規の介護タクシー会社が営業開始

令和8年1月から、新規で個人営業の介護タクシー会社が営業を開始した。町では、以前のように高齢者外出支援タクシー券が利用できる。利用希望者は申請を。



議会だより モニターさんの声

前回1月23日発行の議会だより173号に
対する声を掲載します。

① 表紙・裏表紙

- ・季節の食品を作って食すことは良いことだと思う。
- ・高齢の方々が輝いている姿は、町の健康寿命にもつながり良いことだと思います。

② 2～3ページ（議会報告会・意見交換会）

- ・議会報告会への参加者も多く、活発に意見が交わされた様子がみえました。出された意見や要望を議員一人一人が受け止め議会運営に活かしてほしいと思います。

③ 4～6ページ（12月定例会）

- ・審議結果一覧表と質疑QAの関係が読み取りにくいように感じました。また、審議結果一覧表もギュッと詰め込んだような表構成で、私のような高齢の者には読むのに気合いが必要な感じです。

④ 6～13ページ（一般質問）

- ・今回の質問には、学校教育に関する件が多く見られた。新教育長体制となり、今後町の教育関係への対応に期待します。

⑤ 後半ページ

- ・傍聴者インタビューは行ってみようかなという人が増えると思うので、あると良い。
- ・インタビューにもありましたが、若い世代が気軽に行けるといいなと思います。

⑥ その他

- ・今回初めて一般質問個人QRコードにて議会内容を拝見しました。各議員と町とのやり取りが、書面で見るともとてもわかりやすく良かった。

議会活動出欠状況

令和8年1月1日 ～ 令和8年3月31日

年月日	会議名称	堀江祐司	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	小林達信	藤田一男	下重義人	鈴木孝則
委員会														
8.1.9	議会運営委員会(1月臨時会提出議案)	-	-	○	○	-	私用	○	-	○	-	-	○	○
8.1.9	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
8.1.15	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
8.1.28	経済常任委員会(所管事務調査)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-
8.1.30	総務常任委員会(所管事務調査)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	私用 遅参	-	-	○
8.2.17	埴町議会議員の定数及び報酬に関する調査特別委員会(アンケートの実施)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.2	議会運営委員会(3月定例会運営)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
8.3.10	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○
8.3.10	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-
8.3.10	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
8.3.13	予算決算常任委員会(令和8年度当初予算審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.16	予算決算常任委員会(令和8年度当初予算審議)	私用 早退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.17	議会運営委員会(追加議案)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
8.3.17	議会運営委員会(3月定例会検証)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
定例会・臨時会														
8.1.9	1月臨時会	○	○	○	○	○	私用	○	○	○	○	○	○	○
8.3.9	3月定例会(1日目: 議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.10	3月定例会(2日目: 議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.11	3月定例会(3日目: 一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.12	3月定例会(4日目: 一般質問)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.17	3月定例会(最終日: 議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会														
8.2.17	全員協議会(風力発電事業の進捗状況)	○	○	○	○	○	○	○	私用 遅参	○	○	○	○	○
8.3.2	全員協議会(埴町過疎地域持続的発展計画 他)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8.3.17	全員協議会(追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 一該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。正当な理由の欠席の場合は忌引、傷病、事故、その他と表記しました。

私もひとこと

委嘱されたモニターさんに議会だよりへのご意見をいただきました。

議会モニターとして2年が経ち、少子高齢化や過疎化など町が抱える課題は依然として多く、将来への影響を強く感じています。特に女性の働き方や子育て環境の充実、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づく



しもじゅう はるえ
下重 春江さん
(川上)

施策が暮らしの課題を反映させるの意識を、議会を見守ってほしい

り、日々の生活に直結する重要なテーマであると考えています。2年間を通して、議会の役割や議論の進め方などを知り、今後は女性や子育て世代、高齢者の立場に立った視点を大切にしながら、施策が実際の暮らしにどのよう反映されているのかを意識して、議会を見守っていききたいと思っています。

町議会ホームページ 議会の様子(一般質問)を視聴できます



「埴町ホームページ」→「埴町議会」→「議会中継」をクリックすると動画を視聴できます。

※議会終了後、2～3週間後の配信になります。

※その他の質疑は、「会議録」をクリックしご覧ください。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：埴町消防団ラッパ隊
 会 員：吉田佐一郎隊長以下 24 名
 連 絡 先：埴町生活環境課 43-2148



音楽をあきらめないで！ ラッパ隊があります

埴町消防団ラッパ隊は各消防団行事において演奏活動をしています。秋季検閲、出初式では演奏をしながら町内を行進します。災害現場へ出ない専属隊員もいます。3名の女性隊員も所属しています。音楽が好きなお方、興味がある方はぜひご連絡ください。



編集後記

米国・イスラエルによるイランへの攻撃に端を発し、中東情勢が緊迫しています。多くのガソリンスタンドでは一時的に1ℓ当たり25円前後値上がりするなど政治経済が激変しています。

また、東日本大震災及びそれに起因する福島第一原子力発電所事故から15年目を迎えました。まだまだ多くの人たちが県外に暮らす状況で、復興は道半ばです。

3月定例会は、9日から17日までの9日間行われ、一般質問は7人の議員が登壇しました。広報委員として、今後も読みやすく分かりやすい議会だよりを編集・作成してまいります。

鈴木 元久



あなたも議会を 傍聴してみませんか

令和8年6月定例会は
6月10日(水)からの予定です。

場所 役場2階 議場

詳しい日程は、議会運営委員会で決定後にホームページ等でお知らせします。



広報常任委員会

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 委員 青砥 與藏 | 委員 金澤 太郎 | 委員 吉村 守広 | 委員 鈴木 元久 | 委員 菊地 哲也 | 委員 堀江 祐司 |
| 副委員長 | | | | | |